

Europe Indicators

発表日: 2021年5月19日(水)

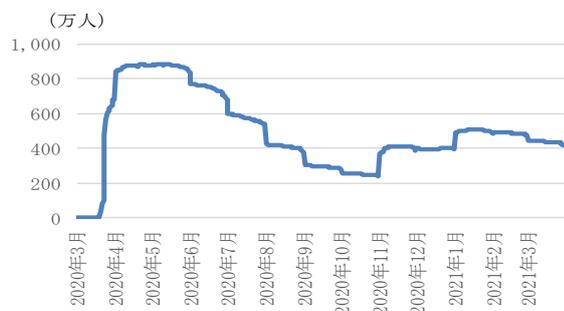
欧州経済指標コメント: 3月英国労働統計

～経済活動再開で労働者不足と賃金上昇が懸念～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

- 18日に発表された英国の3月（過去3ヶ月の移動平均）の労働力調査ベースの失業率は4.8%と前月（4.9%）から一段と低下した。昨年12月の5.1%をピークに失業率の改善が続いている。新たに計算に加わった3月値（単月の数字）は4.61%と、同一サンプルの昨年12月値（5.06%）から大きく低下。3ヶ月連続で同一サンプルの3ヶ月前対比で低下している。
- 3月の就業者数は同一サンプルの3ヶ月前と比較して8.3万人増加し、昨年3月以来となる増加に転じた。就業増加を牽引したのはフルタイム労働者で、パートタイム労働者と自営業者が減少。段階的な行動制限解除と一時休業補助金（ジョブ・リテンション・スキーム）が雇用増加と失業抑制を支えている。9月末まで延長された一時休業補助金の利用者は、昨年春のピーク時の900万人弱から、3月末時点で400万人強に減少しているが、なお労働力人口の1割以上に達する。
- 3月（過去3ヶ月の移動平均）の全産業の時間当たり賃金（賞与を含む）は前年比+4.0%と引き続き高い伸び。1月の同+4.8%をピークに上昇率が鈍化しているが、振れが大きい賞与を除くと3月は同+4.6%に加速し、2007年秋以来の高い伸びを記録した。コロナ禍で失われた雇用の多くが低賃金労働だったため、平均賃金の上昇率が大幅に嵩上げされている。英国ではコロナ禍とブレグジットが重なり、移民労働者の国外流出が加速した。求人数が増加傾向にあり、経済活動再開が本格化することで、労働者不足から賃金上昇につながる懸念もある。

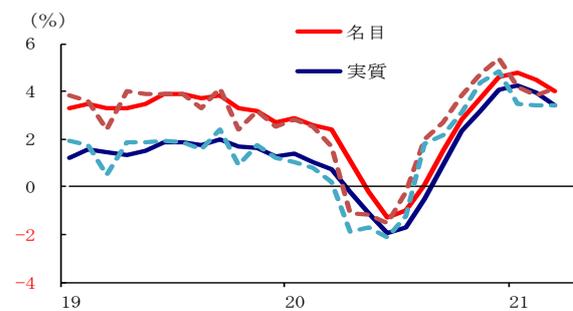
■英国：一時休業補助金の利用者数



出所：英国統計局

■英国の失業給付・平均賃金

■英国：週当たり賃金・賞与（全産業、前年比）



注：実線は3ヶ月移動平均値

出所：英国統計局

	2020				2021							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
失業率（失業給付、%）	7.2	7.0	7.2	7.3	7.2	7.1	7.2	7.2	7.1	7.3	7.2	7.2
失業給付件数（前月差、千人）	557	-74	66	40	-20	-63	38	-2	-38	67	-19	-15
失業率（労働力調査、%） （単月の失業率、%）	4.16	3.97	4.65	4.76	4.85	5.24	5.02	5.06	4.92	4.75	4.61	-
就業者数（前月差、千人）	-329	-334	-175	-153	-164	-143	-88	-114	-148	-73	83	-
週当たり賃金（産業計、前年比、%）	-0.2	-1.3	-1.0	0.1	1.5	2.8	3.7	4.6	4.8	4.5	4.0	-
賃金	0.7	-0.1	0.2	0.9	1.9	2.8	3.6	4.1	4.3	4.4	4.6	-
ボーナス	-12.8	-20.3	-23.1	-14.6	-9.5	1.0	6.0	17.0	14.7	6.2	-0.7	-

注：労働力調査基準の失業率、就業者数、週当たり賃金は当月で終わる3ヶ月移動平均 出所：英国統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

